

「子供の声が聞こえる里」世木地域

世木地域振興会 事務局長 ○吉田隆市

1. 活動方針・目的

世木地域振興会は南丹市日吉町の世木地域の4集落（殿田、木住、生畑、中世木）で構成されています。世木地域は日吉ダム建設に伴い、2集落150軒が水没し、300人の人口が他地域に移転されました。残された4集落では地域が埋没される事を危惧し、地域の活性化を目的に、世木地域振興会が結成され、国など行政の支援も受けながら、自ら実行部隊を編成し、「子供の声が聞こえる里」を目指して活動中です。

2. 活動内容

世木地域振興会では平成24年度から京都府の「共に育む命の里」事業に取り組み、振興会傘下に新たに女性など含めた世木の里づくり委員会を結成し、1年目はワークショップを行い集落再生計画を作成、2年目はその計画に基づき、集落看板の設置、婚活、大学生との田舎体験などを実施しました。3年目には総務省の過疎集落等自立再生対策事業補助金を受け、田舎暮らし体験施設の設置、黒豆の収穫の為に莢取り機の購入、「地域に笑いを」と落語家を招き日吉寄席を開催しました。これらにより、集落再生計画が加速的に進展しました。

3年で京都府の事業は終了しましたが今年度は京都府の仕事人、公共員、南丹市の集落支援員などの支援を受け、月1回の打合せなどを行い、特に農業グループではこの地域の特産品である新丹波黒大豆のブランド化、新たな販路の開拓、生産品質の標準化、組織化などに取り組んでいます。

3. 他の活動団体の参考となる事例

- ①世木地域振興会の配下の実働部隊である「里づくり委員会」を設置、女性や中堅の方々を委員にすることで、様々な意見が出、活性化し、婚活等のイベント等がスムーズにいった。
- ②また、その委員会に区長さんをメンバーにすることで区民への浸透は図れた。
- ③京都府の仕事人や南丹市の集落支援員に参加することで行政の情報が入手でき、積極的な支援を受けることができた。
- ④集落支援員が活動をFBなどで発信することで地域内外の方々にアピールできた。

4. 今後の課題等

世木地域振興会はこれからが正念場で高齢化が急速に進む中、未耕作地、空き家の増加が急速に進んでいる。また、現在の活動の中心になっている団塊の高齢化していく中で今後どのようにして次世代に引き継ぎをしていくか大きな課題である。

明るい兆しとしては地域内の中世木区で20代の夫婦30歳代の夫婦がこの4月に移住されることになり、この地区が限界集落から外れることとなった。



子供の声が聞こえる里づくり

平成28年3月14日
世木地域振興会 事務局長 吉田隆市

京都府南丹市日吉町
世木地域振興会



(1) 世木地域はどこ？



昭和27年9月1日現在
南丹市
総人口 33,004人

昭和27年2月1日現在
南丹市日吉町
総人口 5,156人 高齢化率36.1%

南丹市日吉町世木地域
殿田区、木住区、生畑区、中世木区
総人口 754人 世帯数 322世帯
高齢化率 419%
特産品 新丹波黒大豆（枝豆、黒豆）



日吉ダムから世木地域振興会設立

昭和36年 建設省
宮村(日吉)ダム構想発表

昭和62年 日吉ダム離村式
154戸

2集落が水没

昭和63年 日吉ダム着工

平成10年 日吉ダム竣工

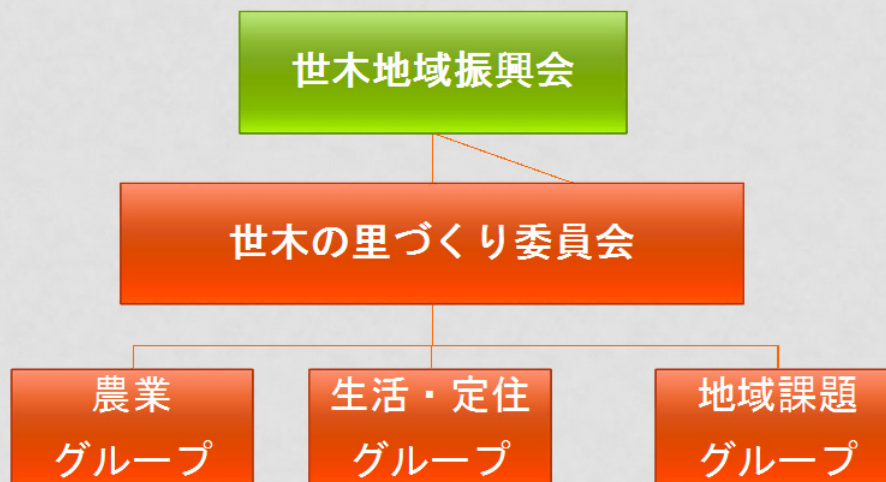
平成18年 世木地域振興会を設立

殿田区、木住区、
生畑区、中世木区

平成24年 京都府の「命の里事業」



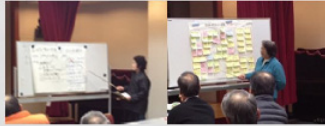
組 織 体 制





世木の里づくり委員会

世木地域振興会 傘下に
世木の里づくり委員会結成
＜里力再生計画＞



- 世木地域里力再生計画
- 子供の声が聞こえる里づくり

①農業グループ

黒豆のブランド化
京都市内販路開拓
聖母女学院短大交流

②生活・定住化グループ

田舎体験施設設置
空家調査
集落の教科書作成

③地域課題グループ

イベント開催
恋活（婚活）の開催



①農業グループの活動 N01

地域ブランドロゴ
世木地域で生産された農産物



委員全員でWSで決定



枝豆の販売にロゴ添付
京都生協で販売



世木米
京都市内の無
農薬販売店





①農業グループの活動 N02

京都聖母女学院短大と世木地域振興会の交流



平成24年度から延べ7回実施



②生活・定住化グループ N01

田舎暮らし体験施設「とまり木」設置

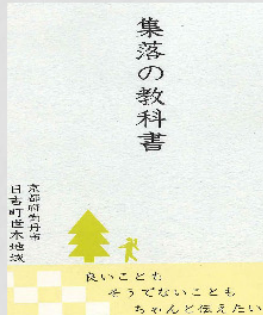


平成27年11月兵庫県佐用町と交流会開催



②生活・定住化グループ N02

集落の教科書



空家調査



③地域課題グループの活動

日吉寄席



日吉町の住人
1/3が参加

世木の恋活



平成24年の婚活のカップルが昨年
世木地域に入籍



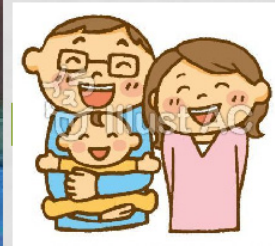
目指すところは 子供も声が聞こえる地域づくり

世木地域に今年4月、2組の夫婦が移住

前田 夫妻



堀田夫妻+子ども（0歳）



御清聴ありがとうございました。